

# 青少年係事業の内容と実施状況について

(分 掌)	(主な事業)	(事業内容)	(実施状況等)
青少年の育成に係る総合企画	あさひかわっ子夢応援プロジェクト	市内在住の中学生から将来の夢を叶えるために「今チャレンジしてみたいこと」を募集し、選考された企画に対して、実現に必要な支援を行う。	応募者数は今年度は17人の申請。2次選考会及び希望者の研修は実施できたが、報告会は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止した。
	少年の主張大会	物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく相手に理解してもらう力を身につける契機となることを目的として、少年が意見を発表する機会を設ける。	参加校がなかったため、大会の開催を中止した。
青少年団体の指導及び育成	子ども会活動 次世代健全育成事業	小学4年生から高校3年生までの会員で組織し、各種研修を行っている。異なる年齢の子どもたちが集まり、キャンプやレクリエーションなどの体験を通して、社会性、自主性及び協調性を養っている。	昨年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため実施できなかったが、今年度は1泊2日のキャンプを実施し、また、冬の宿泊研修も1泊2日で実施した。
	異世代交流事業	世代の異なる子どもたちが交流を通して自律心や自主性を育てることを目的に、子どもたち自身が企画、立案及び運営を行うという形式で事業を行っている。	「夏のサバゲー大会」を8月20日、21日に実施し、参加人数は161人となった。「あったかいねあさひかわ」を12月11日実施。来場者数は705人となり、盛況となった。
	子どもの興味を支援	「ようこそ市長室へ！」を行い、子どもたち自身が住む町に関心・興味を持つきっかけをつくる。	8月10日に小・中学生4名が市長と対談を行った。
職業体験	あさひかわキッズタウン	日々の学校生活や日常生活では体験することができない「職業体験」を通じて、働くことの意義や喜び、大切さを学ぶ機会を提供する。	市主催で北海道コカ・コーラボトリング㈱の協力のもと小学校3・4・5年生を対象に11月19日に実施し、263名の参加があった。
青少年の非行防止	補導活動	各関係機関や団体と連携し、日々、市内中心部や郊外のゲームセンター、カラオケボックス及び公園等、また、市内で催される祭典時等において呼びかけや補導活動を実施する。	市で依頼している補導員による補導活動や、警察や生徒補導協会等との連携による補導活動を実施することとした。
	出前講座	主に就学前の子どもを持つ保護者を対象に、子どもの安全と非行防止についての講義を行う。	依頼があれば実施する予定である。
	青色防犯パトロール	子どもたちを不審者や事件・事故から守るため、青色回転灯を装備した公用車で、小学校低学年の下校時間に合わせて通学路や人通りが少ない生活道路の巡視を行う。	月に2回程度各地区の巡回を実施
	立ち直り支援・居場所づくり事業	補導活動の中で関わりのあった少年等を対象に、自分を見つめ直し、前向きに人生を歩んでもらうきっかけづくりとなるよう、様々な体験活動を実施する。	コロナ対策のため、今年度の体験活動は市主体のものは中止することとなった。
所管施設の管理運営	春日青少年の家	・旧春日小学校校舎を転用し、青少年の健全育成を目的とした野外活動施設として設置した。キャンプ用テントや寝袋を無料で貸し出している。 ・子ども会のキャンプ研修の会場として使用しているが、老朽化のため、大規模な補修が必要となった際には廃止する。	コロナ感染予防対策を徹底し、通常の施設運営を実施
	児童センター(6館)	児童に健全で楽しい遊びを提供し、健康を増進し情操を豊かにするために、児童福祉法に基づいて設置している児童厚生施設である。子どもたちが自由に来館し、遊びを通して仲間の輪を広げている。指定管理者による管理運営であり、令和2年度から新たに5年間の協定を締結する。	コロナ感染予防対策を徹底し、通常の施設運営を実施
	北彩都子ども活動センター	青少年の活動、子育て支援及び地域住民の日常生活の充実を図るための施設。バスケットゴールやクライミングウォール、ダンス練習用の鏡のある運動室、バンド練習ができる音楽室、打合せなどに使える和室などがある。指定管理者による管理運営であり、令和2年度から新たに5年間の協定を締結する。	コロナ感染予防対策を徹底し、通常の施設運営を実施